

SUZUKI GSX1300R HAYABUSA (国内/EU/カナダ/北米仕様)

Tri-Oval チタンサイクロン2エンド

取扱説明書

○作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。

○作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。

○本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

▲危険 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。

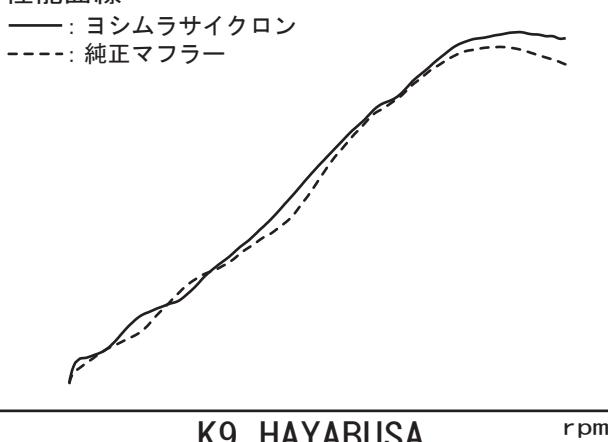
△注意 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。

参考 スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

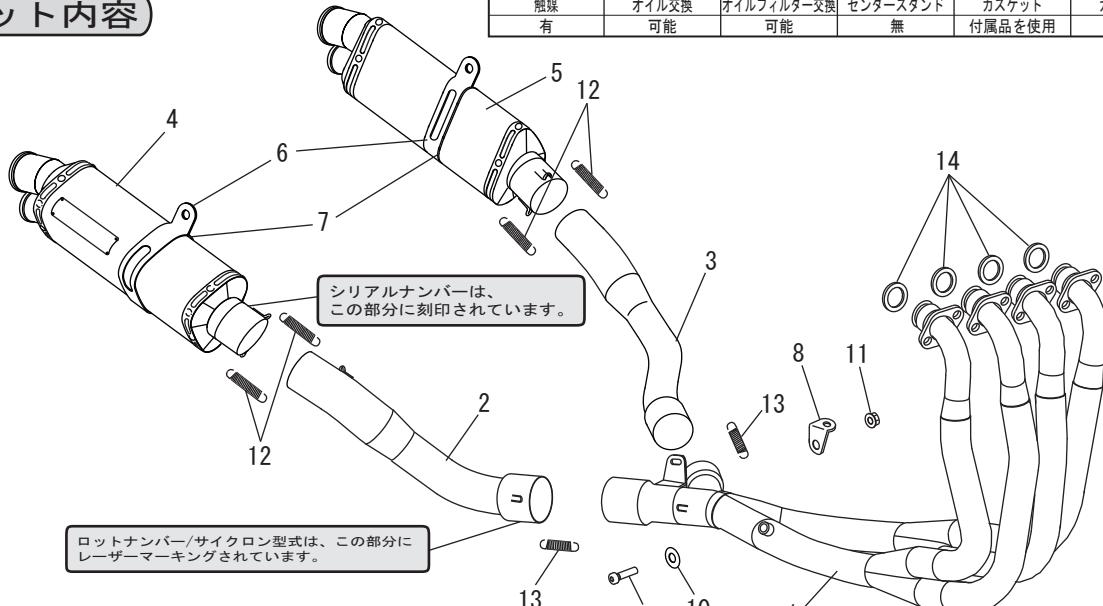
車名	GSX1300R HAYABUSA (国内/EU/カナダ/北米仕様)	
型式	EBL-GX72B (国内仕様 : WMTCモード適合)	
	CK111 (EU仕様 : WMTCモード適合)	
	GX72B (北米仕様 : WMTCモード適合)	
	GX72A (カナダ仕様 : 二輪車モード適合)	
エンジン型式	X704	
認証番号	JMCA2110001019	
サイクロン型式	S509TT021	
素材	Ti / カーボン	
品番	チタンサイレンサー	: 110-509-8980
	チタンブルーサイレンサー	: 110-509-8980B
	カーボンサイレンサー	: 110-509-8990
重量	純正マフラー	: 21.3kg
	チタンサイレンサー	: 7.0kg
	チタンブルーサイレンサー	: 7.0kg
	カーボンサイレンサー	: 6.8kg

ps 性能曲線



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	無	付属品を使用	無	可能



No.	品名	数量	品番	No.	品名	数量	品番
1	エキゾーストパイプ Assy	1	143-509-8900	9	キャップボルトM8×20	1	800-208-5020
2	テールパイプR	1	115-509-8900	10	平ワッシャー8-26-1.6	1	812-108-2600
3	テールパイプL	1	115-509-890A	11	フランジナットM8	1	823-008-1250
4	サイレンサーR (チタンカバー)	1	139-509-8980	12	マフラーースプリング(ロング)	4	118-000-1000
	サイレンサーR (チタンブルーカバー)	1	139-509-8980B	13	マフラーースプリング(ショート)	2	118-000-3000
	サイレンサーR (カーボンカバー)	1	139-509-8990	14	エキゾーストガスケット#311	4	129-311-1000
5	サイレンサーL (チタンカバー)	1	139-509-898A	※	スプリングインナーチューブ	4	118-000-1100
	サイレンサーL (チタンブルーカバー)	1	139-509-898AB	※	スプリング取り工具	1	100-000-0000
	サイレンサーL (カーボンカバー)	1	139-509-899A	※	自動車排出ガス試験結果証明書(GX72A)	1	H180457
6	サイレンサーバンド (チタンカバー用)	2	162-27R-0015	※	自動車排出ガス試験結果証明書(GX111)	1	H580531
	サイレンサーバンド (カーボンカバー用)	2	162-27R-0019	※	自動車排出ガス試験結果証明書(EBL-GX72B)	1	H581185
7	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	2	896-002-1536	※	自動車排出ガス試験結果証明書(GX72B)	1	H680178
8	マフラーステー	1	161-509-2300				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

- SET 内容を確認して下さい。
- メーカー発行のサービスマニュアルを参照してサイドカウル左右、ロアカウル、インナーカウルをそれぞれ取り外します（アッパークーラー以外）。
次にホーンを取り外し、ラジエーター、オイルクーラーを固定しているステーを取り外して、純正マフラーを取り外して下さい。（FIG. 1 参照）

△注意

- 純正マフラーに取り付けられている02センサーは衝撃を与えると故障します。取り外しの際は十分に注意し、外したセンサーはウェス等で保護して下さい。
- ラジエーターやオイルクーラーのフィンは傷つきやすいので、純正マフラー取り外しの際は十分に注意して下さい。

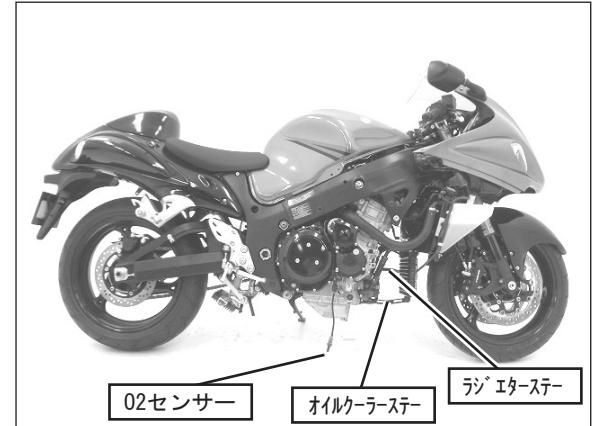


FIG. 1

- フレームの下側に取り付けられている純正マフラーステーを取り外し、純正マフラーステーがついていた場所に⑧マフラーステーを純正ボルトを使用して取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 2, 3, 4 参照）

△注意

- ⑧マフラーステー取り付けの際は、ステーの向きに注意して下さい。目印として、マフラーを取り付けるボルト側にはポンチマークが付いています。
- ⑧マフラーステーは、マフラー取り付け側が車両進行方向に平行になるように取り付けて下さい。

△注意 規定トルク : 23 Nm

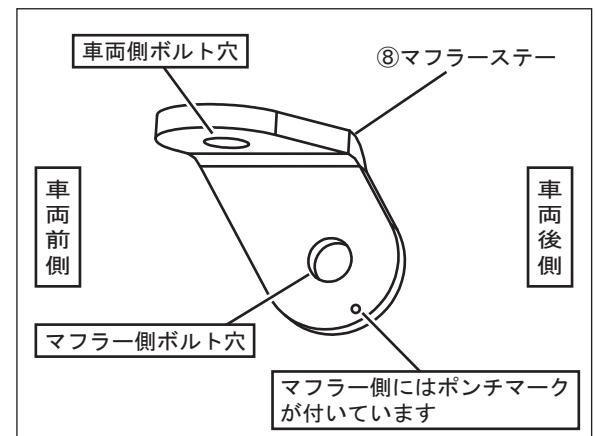


FIG. 2

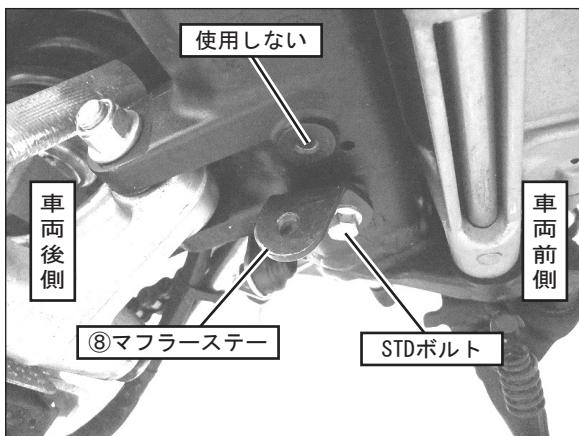


FIG. 3

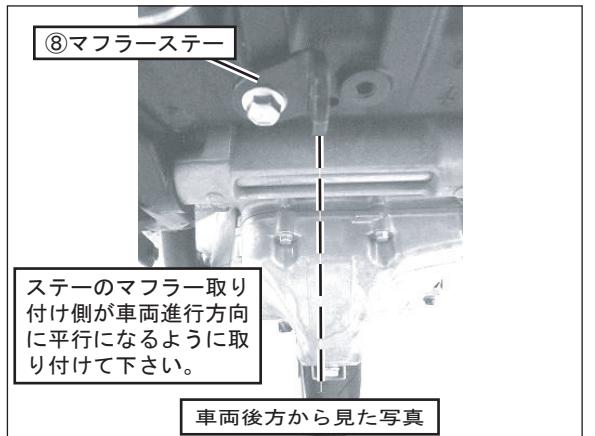


FIG. 4

4. エンジンの排気ポート部から純正ガスケットを取り外し、代わりに⑯エキゾーストガスケット#311を取り付けて下さい。

次に、①エキゾーストパイプAssyを純正ボルトを使用してエンジンに取り付けて仮締めして下さい。

(FIG. 5 参照)

参考

- 取り付けの際は、①エキゾーストパイプAssyを車両横側から入れる様にすると取り付け易くなります。
- ガスケットのエンジン側取付面にグリス等を少量塗布して取り付けると、ガスケットが落下せず作業が進めやすくなります。

△注意

- ラジエータやオイルクーラーのフィンは傷つきやすいので、①エキゾーストパイプAssy取り付けの際は十分に注意して下さい。

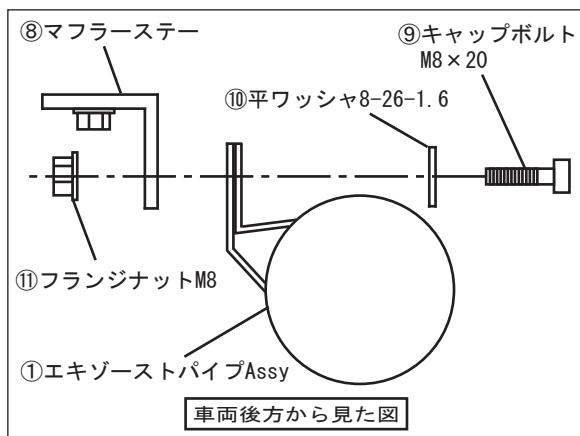


F I G. 5

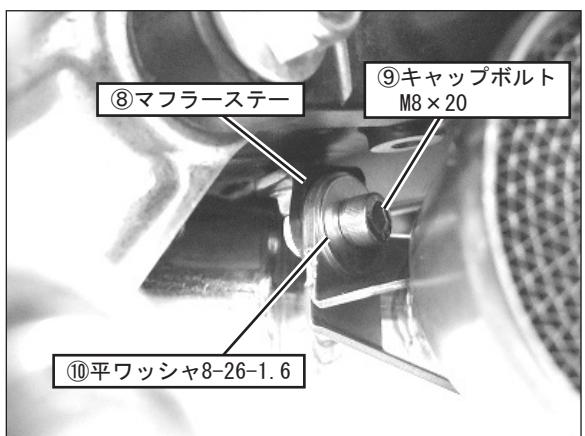
5. ①エキゾーストパイプAssyの分岐部のステーを、手順3で取り付けた⑧マフラーステーに合わせ、⑨キャップボルトM8×20、⑩平ワッシャ8-26-1.6、⑪フランジナットM8を使用して取り付け、仮締めします。 (FIG. 6, 7 参照)

△注意

- エキゾーストパイプAssyのテールパイプ差し込み部には触媒が内蔵されているので、誤って損傷しないように注意して下さい。



F I G. 6

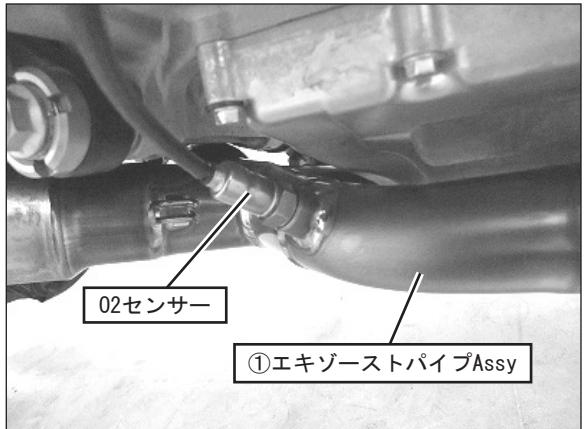


F I G. 7

6. 車両の02センサーを①エキゾーストパイプAssyのセンサーボスに取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 8 参照)

△注意 取り付けの際、02センサーに衝撃を与えないで下さい。故障の原因になります。

△注意 規定トルク：25 Nm



F I G. 8

7. ①エキゾーストパイプAssyに②テールパイプR、③テールパイプLをそれぞれ差し込み、⑯マフラースプリング(ショート)をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 9, 10参照)

▲危険 ・スプリングを取り付ける際はスプリングが工具から外れないように充分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)
・エキゾーストパイプAssyのテールパイプ差し込み部には触媒が内蔵されているので、誤って損傷しないように注意して下さい。

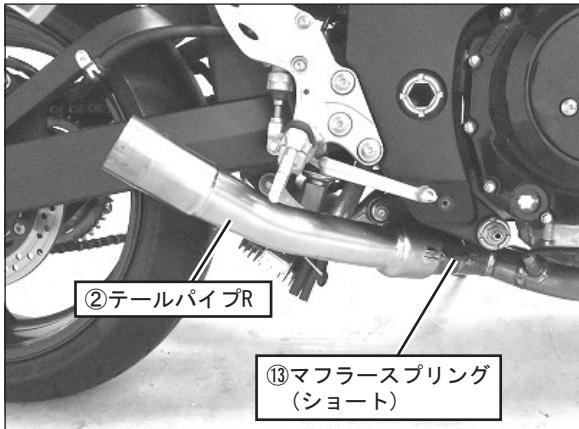


FIG. 9

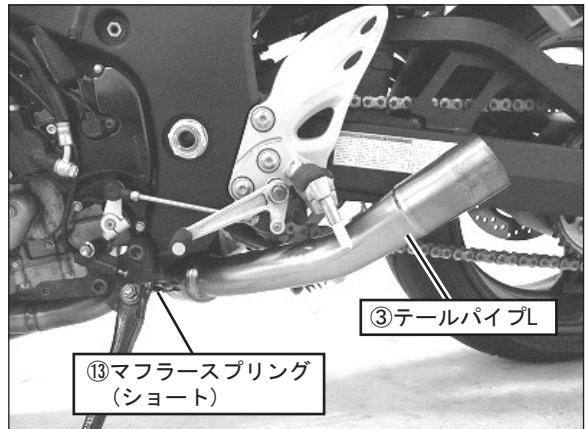


FIG. 10

8. ⑯マフラースプリング(ロング)4本全てに、スプリングインナーチューブを入れて下さい。なお、スプリングに入れた状態ではインナーチューブがスプリングから多少はみ出しますが、マフラーに装着した状態でスプリングが伸びて隠れる為、問題ありません。(FIG. 11参照)

参考 インナーチューブを入れるとき、チューブを回転させると入れやすくなります。

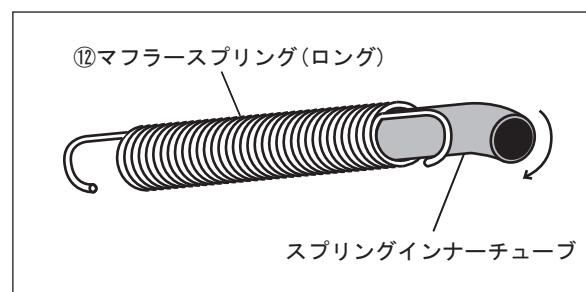


FIG. 11

9. ②テールパイプRに④サイレンサーRを差し込み、⑯マフラースプリング(ロング)をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 12参照)

次に⑥サイレンサーバンドに⑦サイレンサーバンド用スペーサーラバーを通して④サイレンサーRに通し、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナットを使用して車両のプラケットに取り付け、仮締めして下さい。

(FIG. 13, 14参照)

▲注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けすると、バンドが破損する恐れがあります。

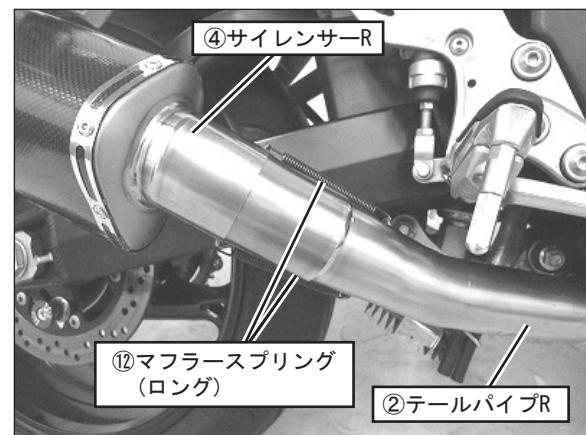


FIG. 12

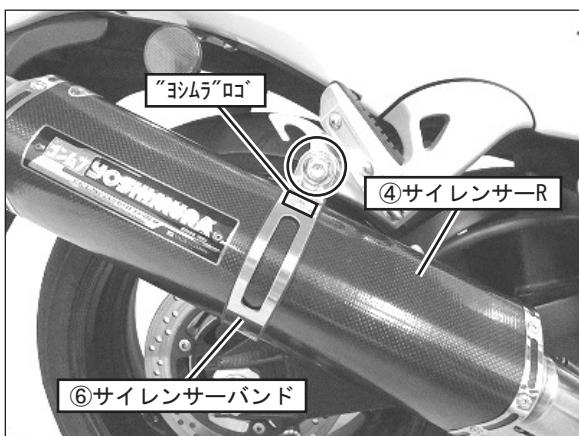


FIG. 13

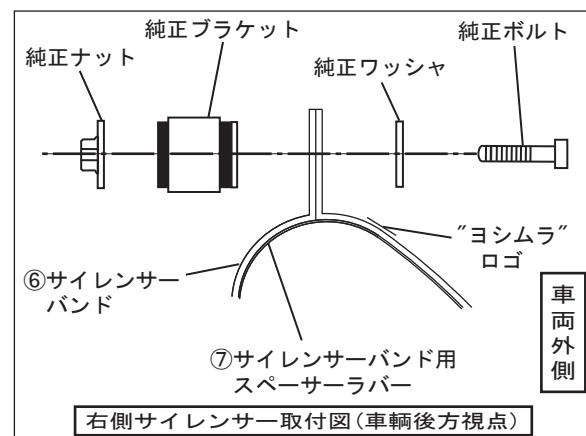


FIG. 14

10. ③テールパイプに⑤サイレンサーLを差し込み、⑪マフラークリップ（ロング）をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。（FIG. 15参照）

次に⑥サイレンサーバンドに⑦サイレンサーバンド用スペーサーラバーを通して⑤サイレンサーLに通し、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナットを使用して車両のブラケットに取り付け、仮締めして下さい。（FIG. 16, 17参照）

△注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けすると、バンドが破損する恐れがあります。



FIG. 15

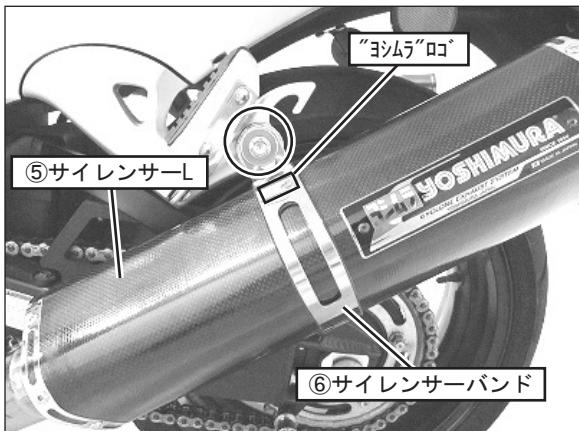


FIG. 16

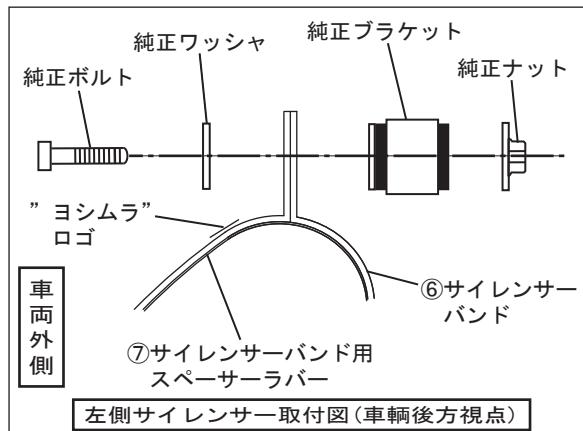


FIG. 17

11. 手順4, 5で①エキゾーストパイプAssyを仮締めしたボルトを、フランジ部→分岐部ステーの順に規定トルクで締め付けて下さい。

参考 分岐部ステー締付けの際は、作業スペースが非常に狭い為、ヘックスレンチのボールポイント等でキャップボルトを押さえ、ナット側を締めこむようにして下さい。（FIG. 18参照）

△注意 規定トルク フランジ : 15 Nm
分岐部ステー : 23 Nm

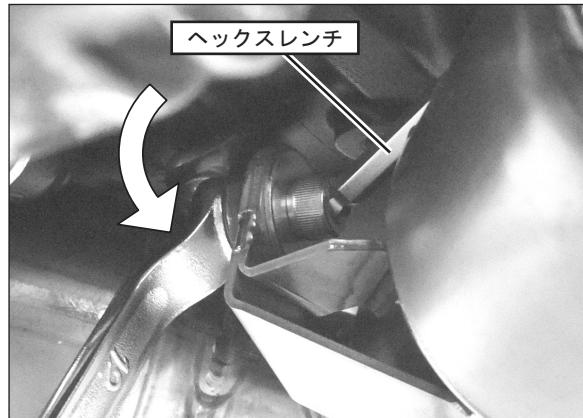


FIG. 18

12. 手順9, 10で仮締めしたサイレンサーバンド部のボルトを規定トルクで締め付けて下さい。

△注意 規定トルク : 23 Nm

13. マフラーがフレームやスイングアーム等に干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は、手順11, 12で締め付けたボルトを緩め、干渉しない位置に調整して締め直して下さい。

14. 中性洗剤とウエスを使用してマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。脱脂後、取り外したステーやボルト、カウルを元に戻して下さい。
15. 暖気運転を行ない、排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

※オイルフィルターの交換について

オイルフィルター交換の際は、写真の位置からフィルターを抜き取って下さい。取り付けも同様に行って下さい。
(FIG. 19 参照)

参考 ※車両、マフラーのばらつきにより、オイルフィルターが FIG. 19 の写真の様に抜けない場合があります。
その場合、FIG. 19 の写真で指示するボルトを緩めると、オイルフィルターを外せるスペースを確保できます。
※ボルトを緩めた際に、オイルが垂れてくる事があります。
オイルフィルター交換後、エンジンをかける前にきれいに拭き取って下さい。



FIG. 19



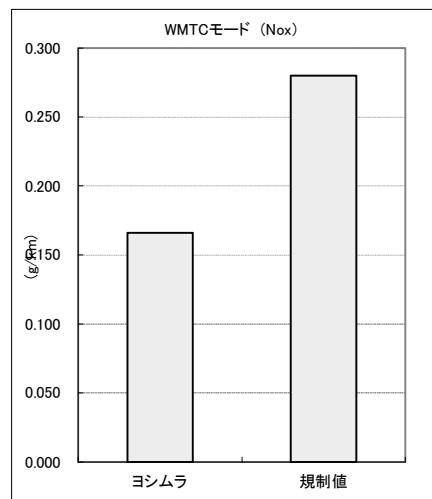
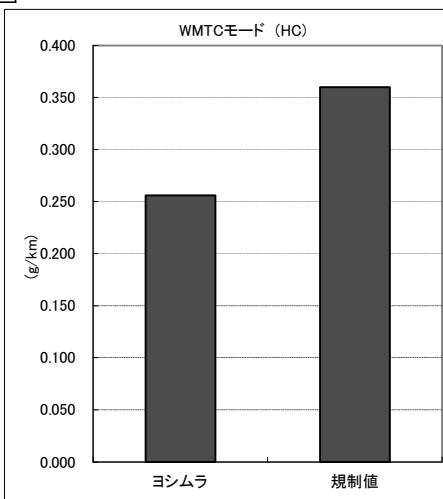
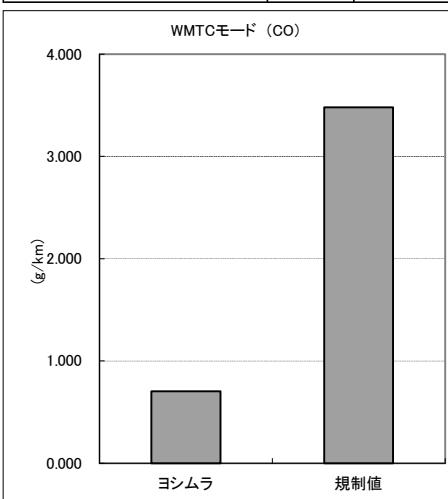
SUZUKI GSX1300R HAYABUSA (国内/EU/カナダ仕様)
Tri-Oval チタンサイクロン2エンド

GSX1300R Hayabusa(国内仕様) TRI-OVAL チタンサイクロン 2エント[†] 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (EBL-GX72B:WMTCモード適合)

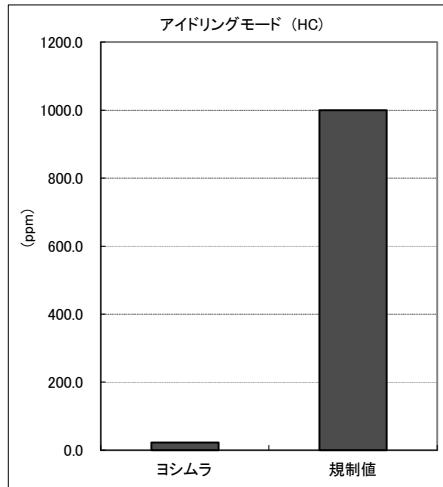
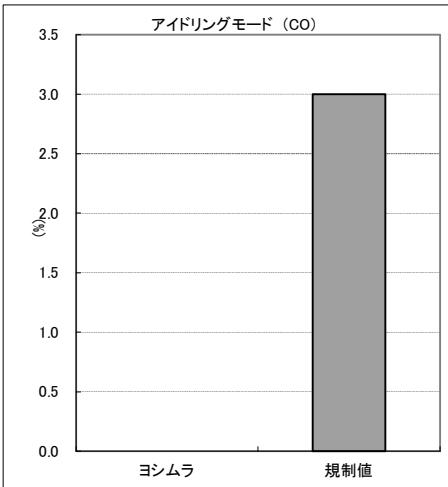
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.704	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.256	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.166	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	134.4	規制無



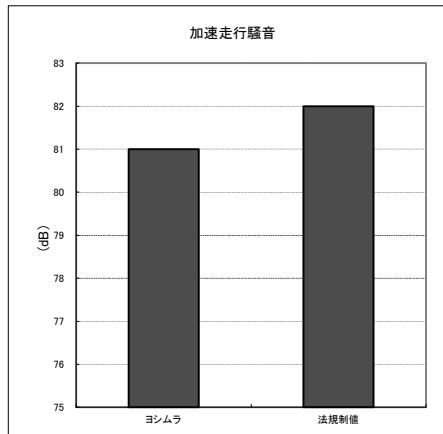
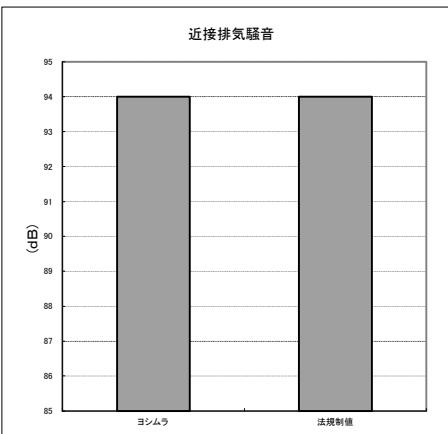
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	23.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	94
加速走行騒音(dB)	81	82

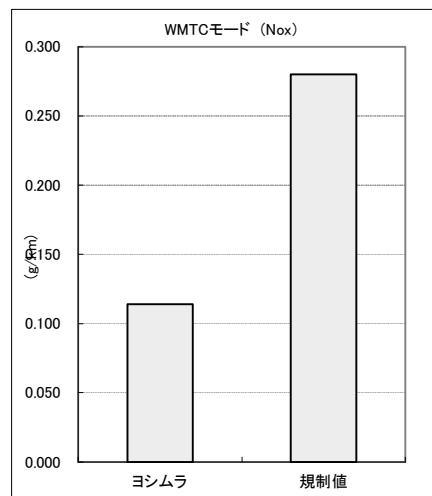
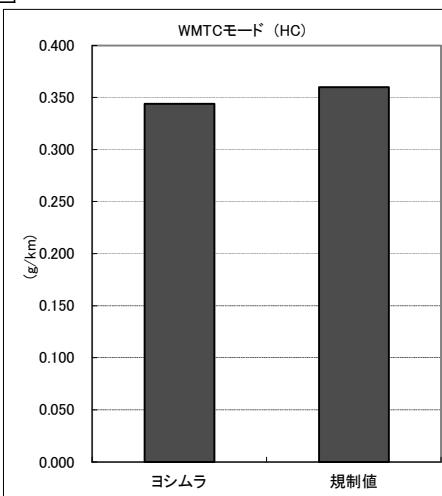
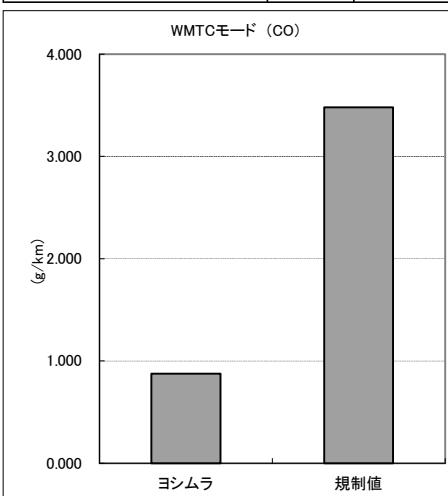


GSX1300R Hayabusa(EU仕様) TRI-OVAL チタンサイクロン 2エンド 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (CK111:WMTCモード適合)

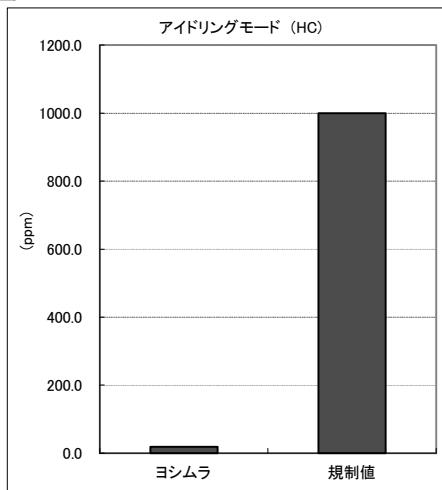
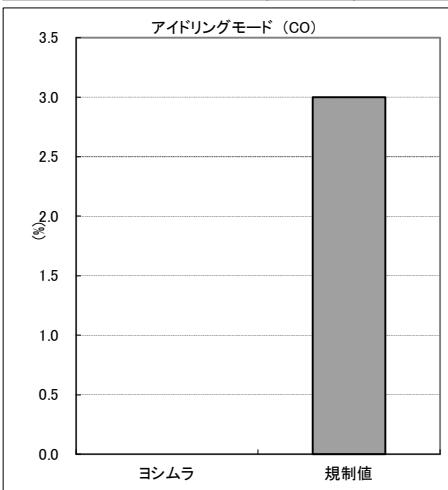
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.877	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.344	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.114	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	128.9	規制無



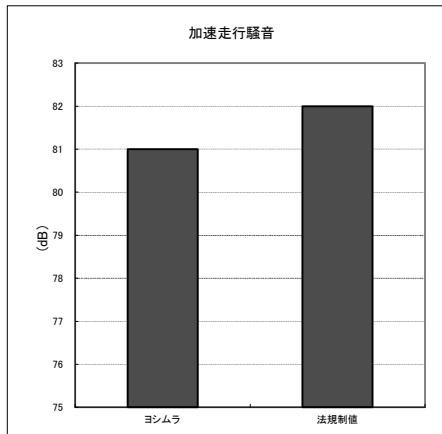
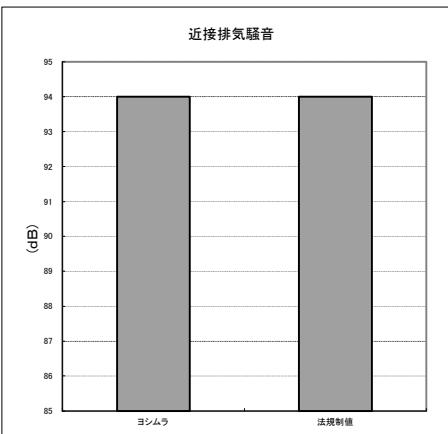
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	19.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	94
加速走行騒音(dB)	81	82

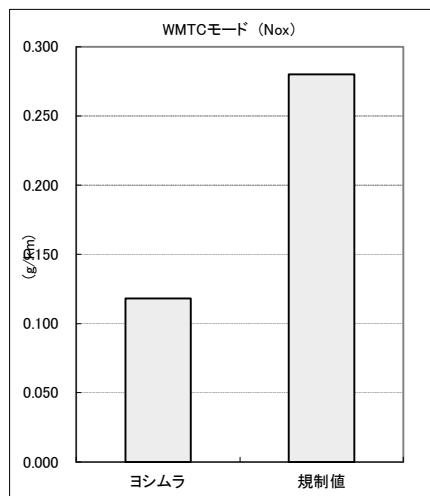
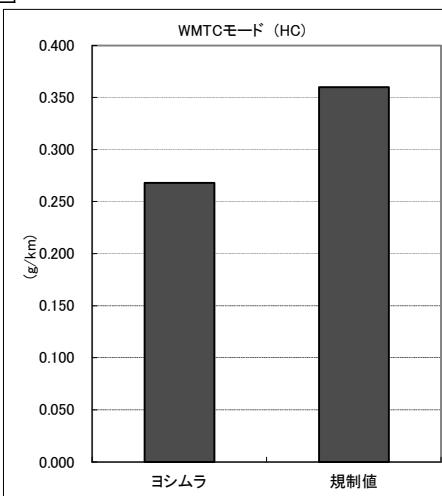
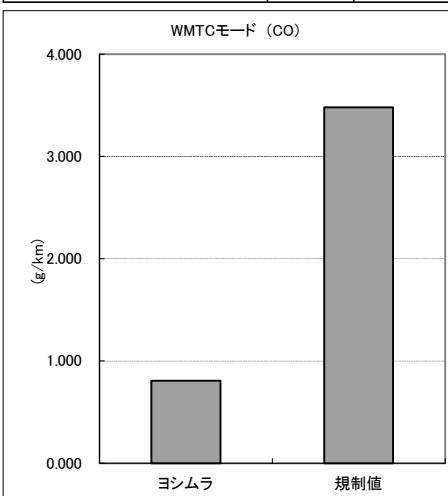


GSX1300R Hayabusa(北米仕様) TRI-OVAL チタンサイクロン 2エント[†] 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (GX72B:WMTCモード適合)

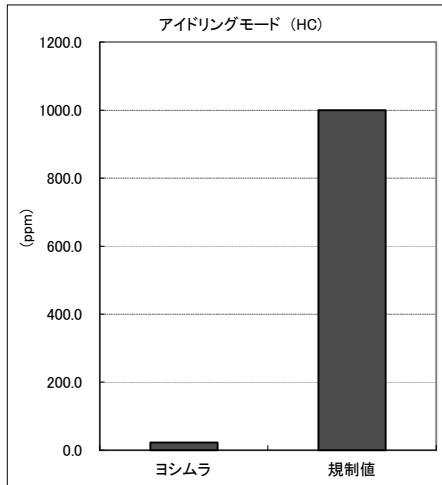
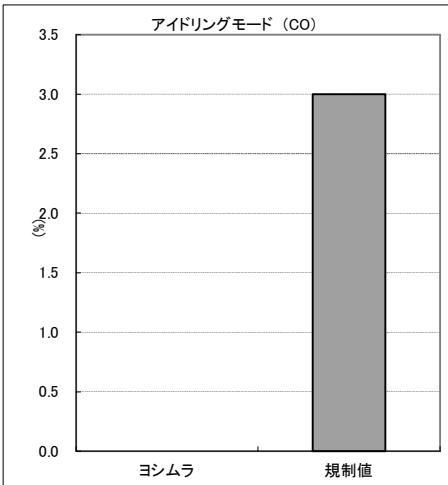
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.806	3.48
炭化水素HC(g/km)	0.268	0.36
窒素酸化物Nox(g/km)	0.118	0.28
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	129.1	規制無



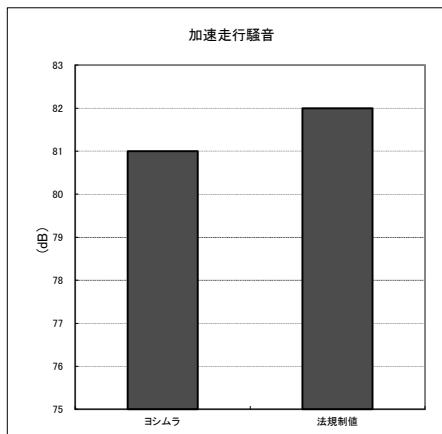
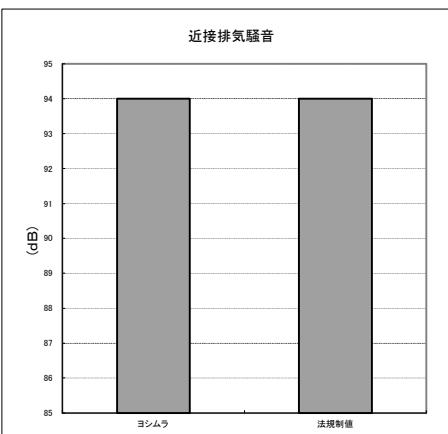
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	23.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	94
加速走行騒音(dB)	81	82

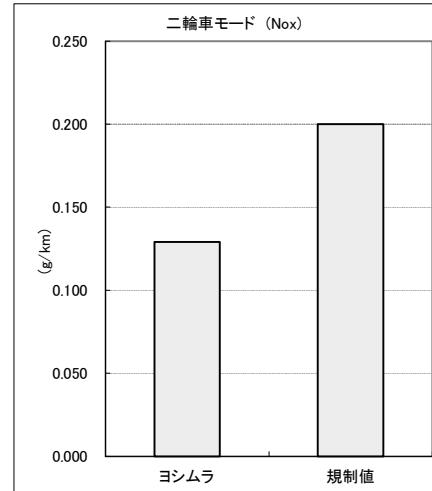
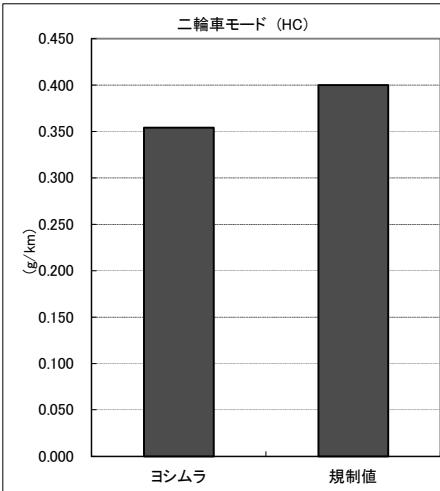
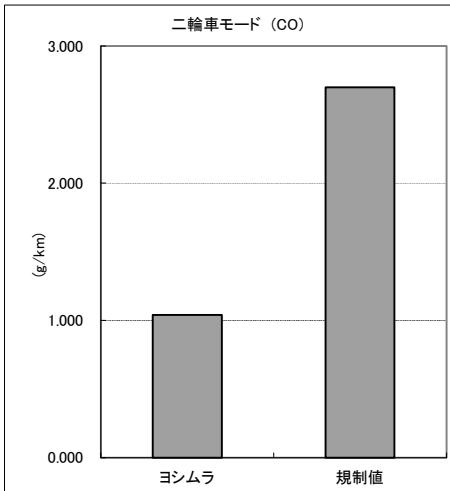


GSX1300R Hayabusa(カナダ仕様) TRI-OVAL チタンサイクロン 2エント 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (GX72A:二輪車モード適合)

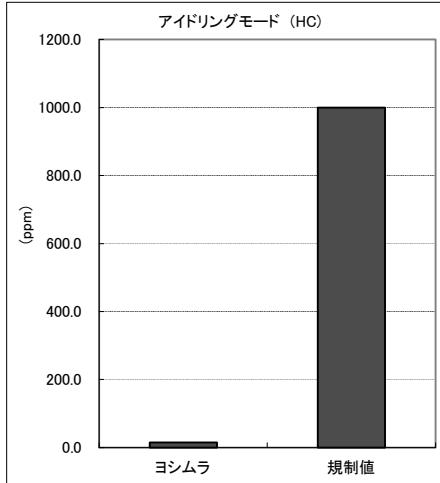
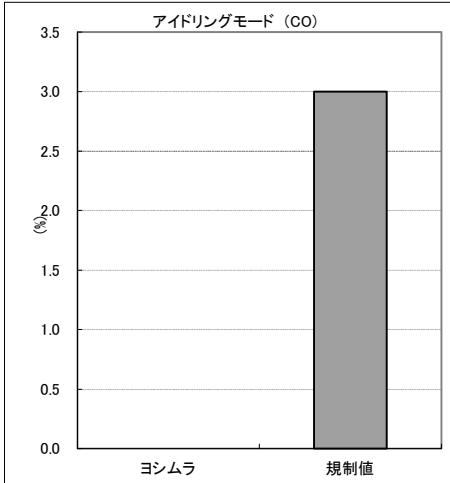
二輪車モード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	1.040	2.70
炭化水素HC(g/km)	0.354	0.40
窒素酸化物Nox(g/km)	0.129	0.20
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	219.6	規制無



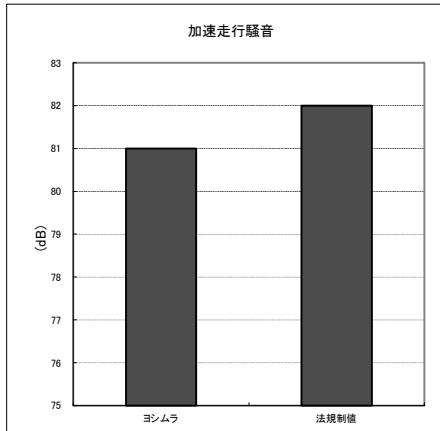
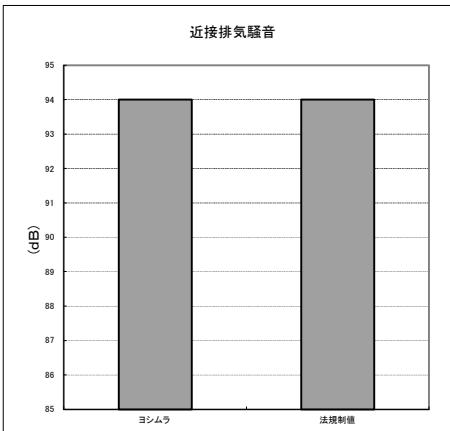
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	15.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	94
加速走行騒音(dB)	81	82



! 重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

! 危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹かしをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

! 注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

● High Flow Magicについて

※本製品は、マフラー内部にハニカム触媒を搭載したキャタライズドサイクロン“High Flow Magic”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

● ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

● 2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。

※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。

※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となります。ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧下さい。

※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



● 「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。

※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJ M C A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

